

交流・ふれあい

基本キーワード 「自然・食・友を呼ぶ」

付帯キーワード 「縁側交流」

キーポイント 小城流の交流は縁側交流・あぜ道交流

小城流の交流とは、飾らない普段着の交流です。自然の恵みと食と人情により、癒しとやすらぎを与えます。

〈いま〉小城市特有の自然や食は、もっともっと活かされるはず。小城市の自然のいいところが、まだまだ知られていないのでは？田舎の知恵、自慢することが、身のまわりに埋もれているのかもしれませんが。小城は可能性を秘めています。

《提案》クチコミでも、小城市の自然、食の素晴らしさを知ってもらいたい。虫がついた野菜の方が本当は美味しいということも子どもたちに伝えていきたい。小城の風習、風土、田舎色（田舎の知恵）を生かして、縁側でお茶を飲んで癒されるような心の豊かなおつきあいの交流をすすめていきましょう。



こんな議論から具体的な

事業の展開へつなげていきます

市内にある「直売所」。そこはこれから小城市の交流の核となる可能性が考えられます。そこに行けば、新鮮な食があり、いろいろな情報が手に入るという場所に。

現在もほたるの郷では、「田舎親戚づくり」という事業を実施されています。

小城の自然を生かす小城市らしい縁側交流のために、グリーンツーリズムに関わる人の育成や、農家と来訪者をつなげる人の育成も必要です。

「小城に来れば癒される」という心温まる交流が行えるように市民もとりかかりを始めています。

山間部では山間部の特徴を生かした交流や農家レストランの取り組み、そして、有明海沿いでも地元の食材を生かした農村カフェなる実験も行われ、それぞれに磨きがかけられようとしています。

スローライフという言葉にふさわしい、ゆっくりと着実に動き始めている小城市流の活動、交流の芽を伸ばし広めていきましょう。

